

試合番号 : 227		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,000	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:51		試合時間 : 01:51		主審 : 原 啓之	
副審 : 小野 将人		東レアローズ		VC長野トライデンツ		通算 1勝 25敗 ポイント : 3	
通算 16勝 10敗 ポイント : 49		25 第1セット 21		23 第2セット 25		監督コメント	
監督コメント		3		1		今日はサーブで相手を苦しめ自分達のラリーが展開できた。ただ勝負所でのミスや得点すべきボールからの失点など自ら出してしまったのが、本当に悔しく、残念な結果になってしまった。明日は最終戦となるので、気持ちを一つにして戦いたい。本日も熱い応援、ありがとうございました。	
要約レポート		第2、3セットの悪い流れを途中出場の渡辺や阿部らが断ち切ってくれた。技術力ばかりではなく、精神力の大切さを痛感した試合となった。明日はしっかりと気持ちを高めていき、首位のパナソニックに挑みたいと思う。本日も沢山の応援、ありがとうございました。		現在、サーブ効果率のチームランキングで1位の東レアローズは、今日も序盤から鈴木、アウンの強烈なサーブで相手レシーブを翻弄し、第1セットを先取した。対するVC長野トライデンツは、リベロ山本の粘り強いレシーブ、矢貫、森崎の両ミドルブロッカーの早さを活かした攻撃や小林のパワーあふれるバックアタックなど、まさに全員バレーで応戦し、第2セットを奪い返した。第3セットも中盤までは両者一歩も譲らぬ展開であったが、東レが終盤にアウン、ルジェが連続でブロックを決めると、一気に流れを引き寄せ奪取し、続く第4セットもその勢いは止まらず、東レが勝利した。			
試合番号 : 228		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,700	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:32		試合時間 : 01:32		主審 : 村中 伸	
副審 : 澤 達大		パナソニックパンサーズ		堺ブレイザーズ		通算 14勝 12敗 ポイント : 44	
通算 22勝 4敗 ポイント : 65		24 第1セット 26		21 第2セット 25		監督コメント	
監督コメント		0		3		今日は首位であり、ホームゲームのパナソニックさん相手に接戦を勝ち切れた事は、チームにとって非常に大きな自信になると思う。ファイナル6がかかるなか、強豪チーム相手にこのような戦いができた事、チーム、選手、スタッフ全員を誇りに思う。明日も万全な準備をして、最終戦に臨みたいと思う。本日は、たくさんの方の応援、ありがとうございました。明日も沢山の応援、宜しくお願い致します。	
要約レポート		堺の強いサーブに苦しめられた。最後まで粘ったが、相手の勢いに押され、セットを取り切れなかった。本日の負けを明日に引きずることなく、明日のレギュラーシーズン最後のゲームを、しっかりと戦っていきたい。本日もたくさんのご声援、ありがとうございました。明日も宜しくお願い致します。		ファイナル6へ、1位通過を決めているパナソニックパンサーズと、負ければファイナル6への出場が難しくなり絶対に負けることのできない堺ブレイザーズの一戦。第1セットパナソニックは久原、クビアクの強力なスパイクで攻め、堺は緩急を付けたサーブから、高橋、ジョルジェフのスパイクで応戦し、白熱した戦いを繰り広げた。終盤、堺は高橋、ジョルジェフの連続ポイントで抜け出すと、関田のサービスが決まり、先取した。第2セット堺は、樋口、高橋のスパイクやブロックで終始優位に進め、リベロ山本も好レシーブで繋ぎセットを連取した。第3セット、パナソニックはクビアクと久原、堺は高橋、ジョルジェフの強力なスパイクで互いに譲らない白熱した戦いを繰り広げ、デュースにもつれ込む接戦となったが、最後は勝利に執着した堺のジョルジェフがスパイクを決め勝利し、ファイナル6を決めた。			
試合番号 : 229		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良				観客数 : 1,610	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:52		試合時間 : 01:52		主審 : 城 智人	
副審 : 山本 和良		ジェイテクトSTINGS		大分三好ヴァイセアドラー		通算 4勝 22敗 ポイント : 11	
通算 13勝 13敗 ポイント : 41		25 第1セット 17		24 第2セット 26		監督コメント	
監督コメント		3		1		第一セットからサーブレシーブが崩され苦しい展開でした。お互いミスが目立つ内容でしたが、自分たちのミスがより多くで、勝負所を取れなかった事が敗因だと思います。明日はシーズン最終戦、勝利して終われる様頑張ります。本日もご声援ありがとうございました。	
要約レポート		ホームで勝利を挙げたいジェイテクトSTINGSと大分三好ヴァイセアドラーの一戦。第1セット、序盤はジェイテクトのプラトエフのサーブで勢いに乗り、ペースを掴む。対する大分三好も高山、ヤカンのスパイクで食らいつくもジェイテクトの勢いを止めきれず、第1セットはジェイテクトが先取る。第2セット、序盤は両者一進一退の攻防を繰り広げる。中盤以降、ジェイテクトはセッター久保山の相手ブロックに的を絞らせない巧みなトスワークで攻撃を組み立てる。対する大分三好もヤカンを中心に攻め切り、第2セットは26-24で大分三好が取り返す。第3セット、序盤は第2セット同様、両者一進一退の攻防を繰り広げる。ジェイテクトは浅野のスパイクや西田のサービスエース等でリードを広げる。大分三好も米田、ヤカンらが果敢に攻めるも、流れを変えられず、第3セットはジェイテクトが取る。第4セット、後がない大分三好は、粘り強いレシーブやヤカンらのスパイクで果敢に攻める。対するジェイテクトは途中出場の郡の活躍と、浅野、秦のスパイクで流れを掴み、セットカウント3-1でジェイテクトがホームで嬉しい勝利を挙げた。					
試合番号 : 230		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良				観客数 : 845	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 17:22		試合時間 : 01:22		主審 : 中山 健	
副審 : 江下 毅		豊田合成トレフェルサ		FC東京		通算 7勝 19敗 ポイント : 21	
通算 18勝 8敗 ポイント : 50		25 第1セット 19		26 第2セット 24		監督コメント	
監督コメント		3		0		今日はあまり出場機会がなかった選手を多く使いたいと思っており、上手くいったところもありました。明日に備えて良いコンディションを作っていきたいです。本日もご来場、ご声援頂き、ありがとうございました。	
要約レポート		応援ありがとうございました。今日は試合の最後まで集中を切らすことなくプレーできました。FC東京は今日も最後まで諦めずに戦ってきました。今日のような試合を明日も続けたいです。ありがとうございました。		豊田合成トレフェルサとFC東京の一戦。第1セット、序盤両チーム点を取り合うも豊田合成の勝岡、椿山のスパイクで流れを掴み1セット目を先取る。第2セット目、両者譲らない一進一退の展開となる。豊田合成は高松、椿山、勝岡で攻撃を組み立て、FC東京は長友、佐藤、井上を軸に攻撃を組み立てデュースまでもつれ込み最後は、勝岡のスパイクで豊田合成が抜け出し2セット目も取る。第3セット目、勢いをそのままに豊田合成は近の効果的なサーブや高松のスパイクで得点を重ね、FC東京の追撃を許さずセットカウント3-0で豊田合成が勝利した。			

試合番号 : 231		試合会場 : 東広島市運動公園体育館				観客数 : 2,500				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:58		試合時間 : 01:58		主審 : 山本 晋五		副審 : 千代延 靖夫		
JTサンダーズ		通算 17勝 10敗 ポイント : 53		25 第1セット 19		サントリーサンバーズ		通算 19勝 8敗 ポイント : 56		
監督コメント	第3セットを取り切る事が出来なかった事には満足できないが、目標であったポイント3を取り切れた事は取替ない。今日、見つかったファイナル6への課題は、これから修正していきたい。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。			3	25 第2セット 20		1	最終戦に向け選手たちは、サンバーズらしい粘りあるプレーを見せてくれた。今日の敗戦をしっかりと反省し、ファイナル6へ向けて準備したいと思います。レギュラーラウンドの応援、ありがとうございました。		
					27 第3セット 29					
					25 第4セット 16					
					第5セット					
要約レポート										
レギュラーラウンドの2位通過を決めているサントリーサンバーズと、最終戦をホームで勝利して3位通過へ望みを繋げたいJTサンダーズの対戦。第1セット、JTはエドガー、山本がスパイクを決めて終始リードする。サントリーは小川を中心に追いあげたが、JTは深津のツースパイク、武智のスパイクでセットを先取る。第2セット、サントリーは栗山がサービスエースを決めて連続得点をあげて競った展開になる。しかし、JTはリベロ井上の好レシーブやミドルブロッカー安永、小野寺が活躍し、徐々にリードを広げてJTがセットを連取した。第3セット、JTはエドガー、山本が連続でブロックを決めると、サントリーも栗山が連続でアタックを決めて、接戦となった。終盤にJTはエドガー、山本がアタックを決めて徐々にリードを広げると安永がクイクを決めて、24-21とマッチポイントを握った。しかし、ここからサントリーが栗山のアタック、小川のブロックでデュースに持ち込んだ。JTは小野寺がアタックを決めて25-24と再びマッチポイントを握り、エドガーのアタックがブロックアウトの判定で勝利を掴んだかに見えた。しかしここでサントリーのチャレンジが成功して、再びデュースにもつれ込み、これで流れを掴んだサントリーが小川、栗山がアタックを決めてセットを奪い返した。第4セット、序盤からJTはエドガー、山本がスパイクを決めて7-2と差をつけた。サントリーは星谷のスパイク、栗山のサービスエースで追いついたが、終盤にJTは武智がブロック、スパイクを決めて得点を重ね、ホーム最終戦を勝利で飾った。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 : 581	試合会場 : 須坂市民体育館	観客数 : 287		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:05	試合時間 : 01:05		
主審 : 渡邊 一史	副審 : 北原 良太			
大同特殊鋼レッドスター 通算 11勝 7敗 ポイント: 35				
監督コメント	25	第1セット	19	きんでんトリニティーブリッツ 通算 8勝 13敗 ポイント: 22
	25	第2セット	19	
	25	第3セット	12	
		第4セット		
		第5セット		
3	0	監督コメント 大同特殊鋼さんとの2戦で、きんでんがやりたいバレーを全くさせてもらえていなかったのが、この1戦も厳しい展開になると覚悟して臨みました。3セットを通して我々がしたい展開にはならなかった。こちらのサーブミス、タッチネットと失点の重みがありチームとしてかみ合わず、一方的な展開となり観戦に来て頂いた方々に大変申し訳ないと思っております。残り3試合、少しでもチームとして良い形になるよう全員で取り組んでいきたいと考えていますので、応援お願いします。		
要約レポート 第1セット、序盤は、お互いにリズムに乗れない展開のままゲームが進んでいった。大同特殊鋼レッドスターは、12-13から田中の速攻や寺尾の連続得点からペースを握り、次第に攻撃が活性化。19-15とリードを奪うとそのままリードを保ち、岡本の強打などで食い下がるきんでんトリニティーブリッツを25-19で振り切った。第2セット、きんでんが連続ブロックポイントで4-2とリードしてスタートしたが、サーブミスも多く大量リードに繋がらない。大同は、二五田の強打や田中のサービスエースなどで11-9と逆転するとその後はリードを保ったまま25-19で逃げ切った。第3セット、終始大同のペースで試合が進む。きんでんもセッターを交代させるなどして打開を図るが、大同は二五田の硬軟織り交ぜた攻撃に加え、途中出場の木村も好調に強打やサーブで得点を重ねて25-12として、この試合に勝利した。				

試合番号 : 582	試合会場 : 須坂市民体育館	観客数 : 376		
開始時間 : 15:15	終了時間 : 16:52	試合時間 : 01:37		
主審 : 西山 尚幸	副審 : 木下 智宏			
長野GaRons 通算 3勝 15敗 ポイント: 8				
監督コメント	18	第1セット	25	埼玉アザレア 通算 9勝 11敗 ポイント: 29
	25	第2セット	19	
	14	第3セット	25	
	17	第4セット	25	
		第5セット		
1	3	監督コメント 長野GaRonsホームゲームでの2戦目、前回の逆転負けを頭をよぎるも、勝利することができました。2セット目は長野GaRonsの勢いに押されて落としてしまったが、要所で得点を重ねることができた。本日も応援ありがとうございます。残りの4戦も全力で戦いますので、引き続き応援よろしくお祈りします。		
要約レポート 第1セット、スタートから埼玉アザレア笠原のサーブで守備を乱された長野GaRonsは、一気に0-7とリードされてしまう。守備を立て直しのために長野GaRonsは、リベロを山田のみでなくベテランの夏目も投入して打開を図るが、連続得点が奪えない。埼玉アザレアは、石井や林の強打も効果的に決まり25-18とこのセットを奪う。第2セット、序盤は埼玉アザレアが浜田のトスマワしが牙を、多彩な攻撃を繰り出しリードしていく。中盤戦に入り、長野GaRons松橋のサーブが走り、埼玉アザレアの守備が乱れ攻撃が決まらなくなると清水の強打と髙橋のブロックも飛び出し、一気に8連続得点を奪い18-12と逆転に成功する。その後は藤井の強打が効果的に決まり、そのままこのセットは長野GaRonsが奪い返す。第3セット、再び笠原のサーブでリズムをつかんだ埼玉アザレアが4点のリードを奪ってスタートするが、長野GaRonsも清水や髙橋の強打やブロックで応戦して1点差に迫る。石井の連続得点でリズムをつかんだ埼玉アザレアは、その後も連続得点を繰り返し25-14で2セット目を奪取して勝利に王手をかける。第4セット、埼玉アザレアの小島が速攻を決めれば、長野GaRonsも髙橋が速攻を決め返したり、長野GaRons藤井がブロックを決めれば、埼玉アザレアの笠原が藤井を止め返したりといった一進一退の攻防を展開していく。10-11からは、埼玉アザレアのセッター浜田が多様なトスマワシで攻撃陣の力を引き出すだけでなく、自らもダイレクトアタックやブロックを決めるといった大活躍。19-17から一気に6連続得点を奪い3-1の勝利を取った。				

試合番号 : 583	試合会場 : 稲城市総合体育館	観客数 : 370		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:02	試合時間 : 02:02		
主審 : 岡谷 仁	副審 : 有村 公美子			
富士通カワサキレッドスピリッツ 通算 15勝 3敗 ポイント: 45				
監督コメント	25	第1セット	19	警視庁フォートファイターズ 通算 12勝 5敗 ポイント: 37
	23	第2セット	25	
	21	第3セット	25	
	25	第4セット	22	
	15	第5セット	11	
3	2	監督コメント 非常に厳しい戦いのなか、全員で粘り強く活路を見出して、2、3セットと連取することが出来ましたが、富士通のサーブとブロックをなかなか攻略できず、苦しい状況で点に結び付けられなかったのが敗因です。苦しい状況での課題、精神面をもう一度よく整理し、チームとして全員で戦うことを徹底し、明日に臨みたいと思います。東京での試合という事で、最後まで熱い声援送ってくださった皆様ありがとうございます。		
要約レポート この試合に勝って首位を争う2位の富士通カワサキレッドスピリッツと、差を縮めたい3位の警視庁フォートファイターズの一戦。第1セット、序盤富士通は固い守りで警視庁に得点を与えずリードすると、米澤のノータッチサービスエースや横田のアタックでリードを広げる。警視庁はセンターを中心に攻撃するが、富士通は長谷山、岩井、加藤の連続ブロックでセットを取らせる。第2セット、警視庁は小川(貴)、中村のアタックや小川(功)の効果的なブロックでリードする。富士通は米澤、岩井のアタック、サーブで追いかけて同点とするが、警視庁は中村のアタックと大野のサーブでセットを取り返す。第3セット、お互いにサーブで相手を崩し連続得点をあげると、突破口が見いだせない。警視庁は小川(功)のアタック、ブロックで終盤抜け出し連取する。第4セット、富士通は米澤、岩井のアタックや加藤のブロックでリードする。警視庁は小川(功)、小川(貴)がアタックで反撃するが、富士通はリベロ芳賀の好レシーブで攻撃につなぎ、警視庁の勢いを止めファイナルセットに持ち込む。第5セット、富士通は米澤、加藤、警視庁は小川(功)、阿部のアタックが決まり一進一退の攻防が続く。終盤、富士通が均衡を打ち破り、柳田がサーブで相手を崩し、加藤の効果的なブロックが決まり勝利を手にした。				

試合番号 : 584	試合会場 : 稲城市総合体育館	観客数 : 405		
開始時間 : 15:40	終了時間 : 17:43	試合時間 : 02:03		
主審 : 林 淳一	副審 : 大井 悠矢			
東京ヴェルディ 通算 2勝 16敗 ポイント: 7				
監督コメント	23	第1セット	25	つくばユニテッドSunGAIA 通算 8勝 11敗 ポイント: 23
	26	第2セット	28	
	30	第3セット	28	
	23	第4セット	25	
		第5セット		
1	3	監督コメント 東京ヴェルディと2週連続の対戦となりました。先週は勝ちましたが、今回は東京ヴェルディのホームゲームということもあり、気を引き締めて臨みました。全セット接戦となりましたが、選手達が最後まで集中を切らさなかったことが勝利につながりました。本日もたくさんの応援ありがとうございます。明日は長野での試合になりますが、引き続きご声援の程よろしくお祈りいたします。		
要約レポート 東京ヴェルディ対つくばユニテッドSunGAIAの試合 第1セット序盤、東京ヴェルディは澤、山下、つくばは小針、勝元のアタックで一進一退で進む。中盤に入ると、つくばは満生、辰日も攻撃に加わるも互角でゲームが進む。終盤、つくばは代わって入った鈴木サービスエースでリードしそのままの勢いでセットを取らせる。第2セット、終盤まで東京ヴェルディは倉田、澤、つくばは小針、満生のアタックで進む。終盤、東京ヴェルディは倉田、澤の攻撃でデュースとする。しかし、つくばは満生のアタックでセットポイントを掴みそのままセットを連取する。第3セットも序盤から、東京ヴェルディは工藤、つくば奥村、鈴木もアタックを決めはじめる。中盤、東京ヴェルディは澤の攻撃、サービスエースでリードするが、終盤につくばは鈴木、奥村のアタックで追い付きデュースとする。しかし、東京ヴェルディは倉田の力強い連続アタックでセットをもぎ取る。第4セット、つくばは序盤から鈴木、奥村のブロックでリードする。東京ヴェルディも澤の攻撃、北沢のブロックで追いつけるが、つくばは奥村のブロックと豪快なアタックで勝利した。				



E2 本日の試合結果一覧

開催日 2019/02/23

2018-19 V. LEAGUE DIVISION3 MEN

試合番号 : 945		試合会場 : 南あわじ市文化体育館				観客数 : 200								
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:24		試合時間 : 01:24		主審 : 佐伯 昌昭		副審 : 前田 恭宏						
兵庫デルフィーノ		通算 2勝 13敗 ポイント : 7		15 第1セット 25		0		3		ヴィアティン三重		通算 13勝 2敗 ポイント : 38		
監督コメント	ホームゲーム初日、白星を目指していたが残念です。サーブで攻めて、優位に進めたかったが、三重の固い守りに点を重ねることができなかった。明日、気持ちを切り替えてやるしかない。本日も応援ありがとうございます。			23 第2セット 25		19 第3セット 25		第4セット		第5セット		リーグも終盤にさしかかり、より一戦一戦大事になる中、しっかりとストレート勝ちでポイント3を獲得できました。勝因としては、前回デルフィーノのしっかりと攻めてくるサーブに苦しめられましたが、今回はレセプションが安定し、全員で攻撃ができました。ハイセットからの攻撃もミスが少なく、安定した試合運びができました。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。		
	要約レポート													
	兵庫デルフィーノが現在首位のヴィアティン三重を迎えるホームゲーム。第1セット、兵庫は秦のスパイクが決まり5-2とリードした。三重は上出の速攻でリズムに乗ると田中・前川のスパイクで逆転し徐々にリードを広げ、終盤には茶屋道のブロックも決まりセットを先取した。第2セット、三重は長谷川の速攻が3本決まり、7-2とリードすると諏訪のスパイク、バックアタックで19-11とした。兵庫は16-23と追い込まれたが、玉嶋のスパイク、ブロックで勢いをつけ太田のサービスエース、秦のブロックで23-24と1点差まで詰め寄る粘りを見せたがあと一歩及ばず、このセットも三重が連取した。第3セット、三重はスタートでポジションを間違えミスをしたが、野垣の2連続サービスエースで流れを取り戻し、北田のスパイクで11-8とリードした。兵庫は西澤・玉嶋のスパイクで応戦するが、三重は17-13から北田・上出・田中の活躍で5連続得点を挙げ、22-13とリードを広げた。兵庫は長いラリーを制し会場を沸かせ、メンバーチェンジで流れを取り戻そうとしたが、最後まで三重の勢いを止めきれずセットカウント3-0で三重が勝利した。													

試合番号 : 946		試合会場 : 南あわじ市文化体育館				観客数 : 150								
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:07		試合時間 : 02:07		主審 : 竹見 聖司		副審 : 松上 麻美						
ヴォレアス北海道		通算 12勝 1敗 ポイント : 32		25 第1セット 22		3		2		東京トヨペットグリーンスパークル		通算 2勝 13敗 ポイント : 8		
監督コメント	悪い試合運びになり、ミスが多すぎて相手チームに得点されることが多くなってしまった。スパイクが上手く機能せず、落とした2セットはサイドアウトが良くなかった。東京トヨペットグリーンスパークルは非常にディフェンスが上手かったこと、試合を楽しんでいるように思えます。明日は気持ちを切り替えて、試合に臨みたいと思います。			23 第2セット 25		25 第3セット 23		24 第4セット 26		15 第5セット 12		2週間試合が空き、ゲーム感覚が悪い中良い試合ができました。非常に攻撃的なゲームができました。明日のデルフィーノ戦も頑張ります。応援宜しくお願いします。		
	要約レポート													
	ヴォレアス北海道は、古田のスパイク、辰巳、関根らのブロックが要所で決まり、優位に試合を展開する。更に山口、家近のサービスエースで北海道が第1セットを取る。第2セット、終盤まで一進一退の攻防となったが、東京トヨペットのブロック、スパイクで流れを引き寄せ、このセットを奪い返した。第3セットも終盤までもつれる展開だったが、北海道は要所でサービスエース、ブロックが決まり、このセットを取り返した。第4セット、東京トヨペットは、西片、藤井のスパイクで攻撃を組み立てた。一方、北海道は田城、古田の攻撃、関根のブロックで終盤まで互いに譲らない展開を繰り広げたが、東京トヨペットがセットを取り返した。第5セット、東京トヨペットは西河、古田の高さを生かしたスパイク、北海道は戸田のディグと中村の巧みなトス回しから速い攻撃を仕掛け、最後は古田の強烈なスパイクで点差を広げた北海道がうれしい勝利を収めた。													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
通算		- 勝 - 敗 ポイント : -		第1セット				通算		- 勝 - 敗 ポイント : -		
監督コメント				第2セット								
				第3セット								
				第4セット								
				第5セット								
	要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
通算		- 勝 - 敗 ポイント : -		第1セット				通算		- 勝 - 敗 ポイント : -		
監督コメント				第2セット								
				第3セット								
				第4セット								
				第5セット								
	要約レポート											